

# 隊員の声

〔防衛医科大学校 看護学科〕

## 「自衛隊で活躍する 看護師を目指して」

私は、さまざまな職業に興味がありました。最終的には看護師になりたいと考えていました。高校3年生の夏休みに、自衛官の父から紹介されて説明会に参加したことがきっかけで、防衛医科大学校について詳しく調べようになりました。その中で、大学生でありながら特別職国家公務員として身分が保証され、卒業後は災害等があった際、現場に駆けつけて活動できる自衛隊の看護師がとても素晴らしいと思え、受験を決意しました。

防衛医科大学校に入校してから思い出として、2年生の夏季定期訓練が印象に残っています。始まる前は憂鬱でしたが、始まってしまえばあつという間で、仲間と励まし合いながら辛いことも乗り越えることができました。その時の達成感は今でも鮮明に覚えています。

防衛医科大学校は、入学金や授業料、食費・宿泊費がかからないことも大きな魅力の一つだと思います。また、学生舎での共同生活により、仲間と共に成長することが出来ます。さらに、看護師の資格だけでなく保健師の資格も取得できることや、週末に東京などに遊びに行けることも大きな魅力です。(※)

まもなく最後の実習が始まるうとしています。コロナ禍で最近の実習は、部外の医療施設等から学内に切り替わっていますが、それでもできるだけその影響がないように先生方が尽力してくださっています。最後の実習も学びを沢山得るために、しっかりと取り組んで最後までやりきりたいと思います。結びに、これから防衛医科大学校を受験しようと考えている皆さんへ。ここでの教育・生活は必ず自分を大きく成長させてくれます。ここに集う同期は本当に素晴らしい仲間になります。そして、今後の人生においてかけがえない宝物になると感じています。北海道から一人でも多くの方がこの学校に入ってもらえると嬉しいです。

防衛医科大学校 看護学科 4年

まつき まな  
**松木 愛奈**



### Profile

30年4月入校

【入隊動機】 特別職国家公務員としての身分を保証され、また災害派遣等で現場に赴く自衛隊の看護師に魅力を感じたため

【目標】 これから始まる実習などの教育を通して、看護師としてのスキルをしっかり身につけたい

【出身校】 室蘭清水丘高等学校



【休日は同期と過ごします】  
(左が本人)



【部外研修にて】(左が本人)

## 防衛医科大学校「看護学科」卒業後のキャリアパスの一例

防衛医科大学校は、学費無料のほか、衣・食・住が無料で提供(自衛官コース)されます。さらに、特別職国家公務員の身分のため、学生手当月額117,000円と期末手当年2回が支給され、経済的な負担がなく、充実した就学環境の中で保健師・看護師たる幹部自衛官又は技官を目指す事ができます。

※卒業後勤務年限が9年間を満たさないで離職する場合は、卒業までの経費を償還しなければなりません。

